



平成21年4月30日

各位

会社名 三井不動産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岩 沙 弘 道
 (コード番号 8801 東証・大証第1部)
 問合せ先 広報部長 山 本 実
 (TEL. 03 - 3246 - 3155)

平成21年3月期の関係会社株式評価損(単体)に関するお知らせ

当社の関連会社である株式会社帝国ホテルおよびリゾートソリューション株式会社について、当社が保有する同社株式について、平成21年3月期決算(単体)において減損処理による関係会社株式評価損を特別損失として計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期における関係会社株式評価損(単体)

	単体
(A)平成21年3月期第4四半期会計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)の関係会社株式評価損の総額(=イ-ロ)	6,997百万円
(イ)平成21年3月期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の関係会社株式評価損の総額	29,960百万円
(ロ)直前四半期(平成21年3月期第3四半期)累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)の関係会社株式評価損の総額	22,962百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は、3月31日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体
(B)平成20年3月期末の純資産額	813,667百万円
(A/B×100)	0.9%
(イ/B×100)	3.7%
(C)平成20年3月期の経常利益額	93,305百万円
(A/C×100)	7.5%
(イ/C×100)	32.1%
(D)平成20年3月期の当期純利益額	32,985百万円
(A/D×100)	21.2%
(イ/D×100)	90.8%

2. 平成21年3月期の業績に与える影響

上記評価損を平成21年3月期単体決算において特別損失として計上いたしました。

関係会社株式評価損については単体決算固有の会計処理であり、平成21年3月期決算(連結)において「のれん相当額」償却による特別損失を計上いたしましたが、影響は軽微であります。

詳細は以下のとおりです。

- ・帝国ホテル株式については、平成20年3月期決算(連結)において「のれん相当額」を全額償却済みであり、平成21年3月期決算(連結)に与える影響はありません。
- ・リゾートソリューション株式については、「のれん相当額」の未償却残高を平成21年3月期決算(連結)において全額償却し、14億円を特別損失に計上いたしました。

当期の業績につきましては、本日公表の平成21年3月期決算短信をご参照ください。

以上